

国際 理解

—とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座—

多文化共生社会のために

古代ローマ帝国と近代ハブスブルク帝国の光と影を歴史的な参照枠としつつ、ドイツのマス・メディアに現れた日本（人）像をたどることなどによって、異なる文化を相互に理解し、異なる文化を生きる人々の人権を尊重する社会の構築のために何が必要かを考えます。

多文化社会としてのローマ帝国

多民族国家としてのハブスブルク帝国

ドイツのマス・メディアに現れた日本（人）像

大分大学・別府大学・大分県立芸術文化短期大学

多文化共生社会のために

異なる文化を相互に理解し、異なる文化を生きる人々の人権を尊重する社会をどのように構築するかは現代社会の大きな課題のひとつです。

歴史上有名な多文化社会であるローマ帝国とハプスブルク帝国、更にドイツの対日「仰天」報道など、ヨーロッパを例にこの課題について考えてみましょう。

■第1回

日時 **10月13日(土)**
15:00~16:30

多文化社会としてのローマ帝国

多文化社会であるとともに、一つの統合された世界でもあったローマ帝国について考えます。

講師名/山本 晴樹(別府大学)

■第2回

日時 **11月3日(土)**
14:00~15:30

多民族国家としてのハプスブルク帝国

近代のハプスブルク帝国における民族協調の理想と現実に迫ります。

講師名/高瀬 圭子(大分県立芸術文化短期大学)

■第3回

日時 **11月10日(土)**
15:00~16:30

ドイツのマス・メディアに現れた日本(人)像

日本の主婦は幸せな〇?政治家は〇流?ドイツの「仰天」報道を点検します。

講師名/安岡 正義(大分大学)

●場 所 大分県立芸術文化短期大学 人文棟(大分市上野丘東1番11号)
●対 象 一般市民(30名程度)

●受講料 無料
●申込み切 各講座の開催日の二週間前まで

申込み・問い合わせ先

大分高等教育協議会
とよのまなびコンソーシアムおおいた事務局
大分大学学生支援部教育支援課
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
TEL 097-554-8522・7366 FAX 097-554-7445
Mail manabi-jimu@oita-u.ac.jp
URL <http://www.e-consortium-oita.org>

講座への申込み

- ・ 申込書に必要な事項を記入して、FAX・郵送いただくか、電子メールに申込書の情報を記入してお申込みください。
- ・ 電話では受付できません。
- ・ 申込が多数の場合は、抽選とさせていただきます。受講可・否の結果は、申込締切後1週間以内にお知らせいたします。受講可能な場合は、連絡事項や会場案内などを郵送いたします。

<切り取り>

申 込 書

平成24年度 とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座
大分大学・別府大学・大分県立芸術文化短期大学 公開講座

講座名 ※希望される講座番号に ○を付けて下さい。	第1回	(10/13)	多文化社会としてのローマ帝国	
	第2回	(11/3)	多民族国家としてのハプスブルク帝国	
	第3回	(11/10)	ドイツのマス・メディアに現れた日本(人)像	
ふりがな				性別
氏名				男・女
住所	〒			
連絡先 (必ず記入)	TEL ()			

* この申込書は、講座の実施において必要な書類(名簿等)の作成のほか、その他講座のご案内に関する資料として利用します。
* 受講風景の写真撮影、ならびにホームページに掲載させていただく事を、予めご了承ください。